# 市政を問う！

## 一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、14人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。（５月末掲載予定）

### 自治体間のカーボンプライシング

金濵　高顕　議員

**問**　自治体間の温室効果ガスの排出量取引は※1キャップ＆トレード制度や※2Ｊ－クレジット制度など様々な制度がある。

実現すれば環境上の使命だけでなく、削減をした側に収益が生じることから、市民生活を支える財源を確保することができる。導入を。

**答**　今後自治体間での二酸化炭素排出量削減に向けた取引制度が進み、そこに参加することができれば、ふじみ野市ゼロカーボンシティ宣言をより強く推し進めることになると考える。導入に向けて検討していく。

#### 車両のＥＶ化

**問**　市民が身近に感じることができれば、カーボンニュートラルについての意識向上につながる。本庁舎でカーシェアを実施しているが、車両のＥＶ化やラッピングを事業者に働きかけてはどうか。

**答**　今後、車両の入替の際にＥＶ化とするような働きかけをしていく。またラッピングについても一定の効果があると考えるので同様に働きかけをしていきたいと考える。

本庁舎駐車場のカーシェア車両

### 空家対策の新たな施策

坪田　敏孝　議員

**問**　本年４月から実施される第２期空家等対策計画の新たな施策は。

**答**　国の法改正に即し、相続登記義務化の周知、所有者不明土地・建物管理制度の活用検討、計画の対象に分譲マンションを追加、屋根や外壁の一部が落ちているような管理不全空家等への緊急安全措置の対応などを新たに盛り込んでいる。

空家ワンストップ窓口の案内

#### 入所保留児童数ゼロを目指した施策

**問**　２月に発表された保育所の入所保留児童数について１歳児は79人、空き数はゼロだった。入所保留児童数ゼロを目指した取り組みは。

**答**　保護者に対し、希望施設数を増やすことや、きょうだいの入所パターンの変更を促すなど、入所できる可能性が少しでも高くなるアドバイスをしている。

#### 養育費不払い解消支援

**問**　ひとり親家庭における養育費不払い解消については、法務省からの事務連絡でモデル事業が示されているが、本市の取り組みは。

**答**　元家庭裁判所調査官、弁護士、司法書士による相談をそれぞれ月に複数回実施している。

※１：国が企業や自治体に温室効果ガスの排出枠を設定し、その取引を認める制度
※２：温室効果ガスの排出削減量や吸収量をクレジットとして国が認証する制度